

## 第5学年 社会科学習指導案

児童 1組 男16名 女13名 計29名

指導者 吉田 泰治

1 単元名 「工業生産を支える人々 2 世界とつながる自動車」(教育出版5年)

2 単元について

(1) 目標

工業生産を支える貿易のはたらきと、世界各国との結びつきについて調べ、その特色や問題をとらえることから、貿易の今後の進め方について考えをもつことができる。

(2) 指導にあたって

本単元では、前単元で学習した自動車生産を窓口に、外国での日本車の生産の様子や我が国の輸出入の品目などを調べ、既習である食料の輸入への依存なども合わせて、我が国の貿易の特色を横断的に理解するとともに、貿易大国である我が国が取るべき世界各国との協調的な態度について考えさせていく。

児童は、資料をもとに気づいたことを述べたり、学習した事項と自分の生活とを関連付けて考えたりする学習に概ね意欲的に取り組むことができるが、自分の生活と離れた社会的事象について追求したり筋道を立てて思考したりする力には個人差が大きい。

指導に当たっては、資料をもとに社会的事象をとらえることはほとんどの児童ができると予想されるが、既習事項と関連付けながら、日本と外国の両方の立場で社会的事象をとらえ、社会的事象が生ずる理由や相互の関係に気づくことができる児童は一部に限られると考えられる。確認資料の提示や板書での整理等を通して、理解の手掛かりとなる的確な考えを強調し、全体に十分に広めて理解させていきたい。

(3) 指導計画(3時間)

第1次 自動車は世界へ	1時間(本時)
第2次 輸出と輸入を比べてみると・・・	1時間
第3次 地球儀と地図を使いこなす	1時間

(4) 評価規準

○自動車の輸出や海外生産を例にして、日本の貿易の特色や問題を意欲的に調べようとしている。

(関・意・態)

○日本の貿易の特色や問題について、具体的な資料をもとに考えて表現している。(思・判・表)

○日本の貿易の様子をグラフや図から読み取り、その特色をまとめている。(技能)

○地図や地球儀の違いを読み取り、地球儀を使って世界各国の位置や日本からの距離について調べている。(技能)

○日本の貿易の特色や問題を理解している。(知・理)

○地図と地球儀の違いに気づき、それぞれの適切な使い方を理解している。(知・理)

3 本時の指導

(1) 目 標

○日本の自動車の外国での生産の様子を調べ、貿易による世界各国との結びつきや協力について考えることができるようにする。

(2) 研究の視点に関わっての工夫

◎視点1 一見通しの段階で自力解決の内容や使える資料をしぼりこみ、資料から読み取れることをノートに書かせて、個々に自分の考えをもたせたい。

◎視点2 海外生産について調べてノートに書いたことを発表し合い、海外生産について日本と外国の立場から考えて意見交流をさせ、その要点を強調することによってまとめへと導きたい。

(3) 展 開

	学習内容と活動	活動への支援（・）評価（◆）視点（◎）	資 料
つ か む  5	1 学習課題をつかむ ○資料を見てわかることを発表し合う。 ○課題をつかむ。 自動車生産を通して日本と世界はどのようにつながっているのか。	・日本の自動車が海外でも使用されていることをから、課題をつかむ。	①写真：海外で使用されている日本車
自 分 の 考 え を も つ  20	2 見通しをもつ ・日本が海外に輸出しているから海外でも走っているのではないか。 ・教科書P130の資料から、アメリカやオーストラリアなどへの輸出が多いことがわかる。 ・日本の自動車は性能や乗り心地の良さから人気がある。 ・ほかに海外生産も行われているようだ。  3 自力解決する。 ・海外生産は1985年から始まった。 ・海外生産はその国の役に立っている。 ・海外生産はアジア・北アメリカ・ヨーロッパ・ロシアに多い。アフリカは限られている。 ・海外で生産し別の国に輸出されることもある。 ・海外生産には難しさもある。	・追求に使用できる資料に着目させる。 ・追求する内容を海外生産にしぼる。  ◎教科書の資料からわかったことをノートに書かせる。(視点1) ◆調べたことをノートに書くことができる。(ノート) ・書けない児童には、資料の見方や考える視点を個別に与える。	②図表：日本の自動車の主な輸出先 ③グラフ：日本の自動車の生産台数と輸出台数の変化  ③上記 ④図表：世界に広がる自動車工場と、現地での生産台数 ⑤海外工場で働く人の話
学 び 合 う  10	4 みんなで学び合う ○調べてわかったことを発表し合う。 ○日本と海外の国々の立場から自動車の海外生産について話し合う。 ・日本車の工場がある国では、自分の国で日本車が作られていることをどう思っているのだろう。 ・日本車の海外生産は日本によいことがあるのだろうか。  5 資料を見て、出された考えを確かめたり、自分の考えに補足したりする。	◎調べて書いたことを発表し合ったり、提示された疑問に対し、考えを話し合ったりする。(視点2) ・雇用、関連産業の振興、ニーズの把握、流通の速さ、技術交流などにより歓迎されていることに気づかせたい。 ・原料や労働力の確保、現地のニーズの把握、市場の拡大といった経営者側の利点に加え、産業の空洞化など労働者側の不利益などに気づかせたい。  ・資料提示等で、4での児童の考えを裏付けたり、補足したりする	⑥自動車会社の人の話 ⑦写真：貿易摩擦
ま と め る  10	6 まとめる ・日本の自動車と海外とのつながりについて、大切なことをノートにまとめる。  7 学習を振り返る ・本時の学習のしかたについて振り返る。	◆海外と協調しながら生産する考え方が大切であることをノートにまとめる。(ノート) ・まとめられない児童には友だちのまとめを参考にさせる。  ・観点を提示し振り返らせる。	